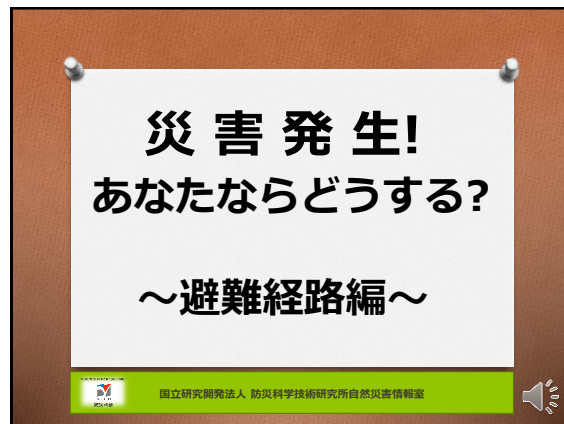




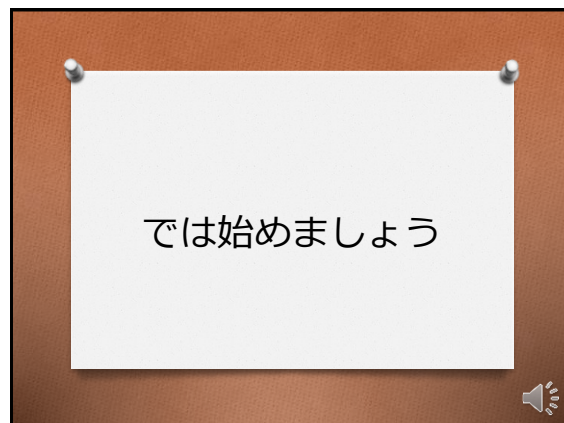
1



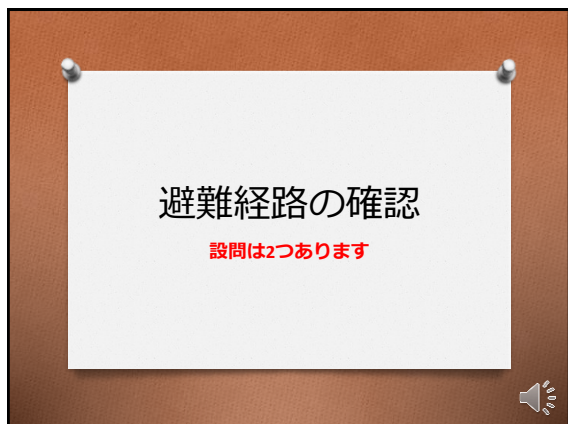
2



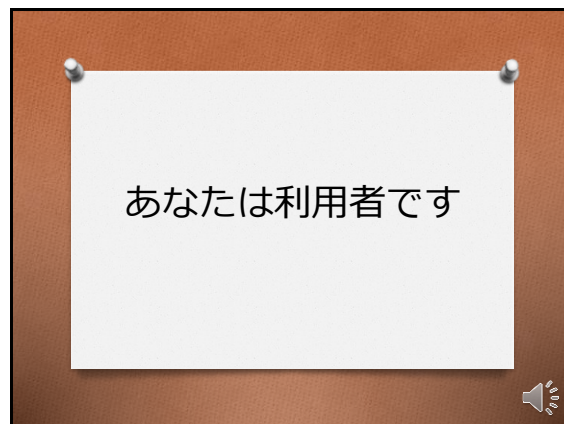
3



4



5



6

あなたは、利用者です。

大きな地震が発生しました。
揺れは収まりましたが、
職員からの避難指示はまだありません。
どうしますか？

A 外へ逃げる	B 指示を待つ
------------	------------

7

あなたは、利用者です。

大きな地震が発生しました。
揺れは収まりましたが、
職員からの避難指示はまだありません。
どうしますか？

A 外へ逃げる	B 指示を待つ
------------	------------

3

8

あなたは、利用者です。

大きな地震が発生しました。
揺れは収まりましたが、
職員からの避難指示はまだありません。
どうしますか？

A 外へ逃げる	B 指示を待つ
------------	------------

2

9

あなたは、利用者です。

大きな地震が発生しました。
揺れは収まりましたが、
職員からの避難指示はまだありません。
どうしますか？

A 外へ逃げる	B 指示を待つ
------------	------------

1

10

設問を続けます

あなたは職員です

11

あなたは、職員です。

大きな地震が発生しました。
避難経路の安全確認が済まない内に、
利用者が外に出始めました。
どうしますか？

A 待機するよう 呼びかける	B 避難誘導する
----------------------	-------------

12

あなたは、職員です。

大きな地震が発生しました。
避難経路の安全確認が済まない内に、
利用者が外に出始めました。
どうしますか？

A 待機するよう 呼びかける	B 避難誘導する
----------------------	-------------

3

13

あなたは、職員です。

大きな地震が発生しました。
避難経路の安全確認が済まない内に、
利用者が外に出始めました。
どうしますか？

A 待機するよう 呼びかける	B 避難誘導する
----------------------	-------------

2

14

あなたは、職員です。

大きな地震が発生しました。
避難経路の安全確認が済まない内に、
利用者が外に出始めました。
どうしますか？

A 待機するよう 呼びかける	B 避難誘導する
----------------------	-------------

1

15

設問は以上です

16

あなたはどちらを
選びましたか？

17

避難経路の確認

<p>»» A</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 安全確認後、避難誘導へ ✓ 時間がかかると、不安・怒り増大 ✓ 待っている間の居場所は安全？ ✓ 確認者の安全は？ 	<p>»» B</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 待てない利用者が避難を開始したが・・・ ✓ 障害物や危険物の存在 <ul style="list-style-type: none"> ✓ ガラスが散乱 ✓ 壁・天井の落剥 ✓ 照明の落下 ✓ ドアの開閉不具合 ✓ 防火扉の作動 等
--	---

18

解説

19

地震発生直後から避難するまで

一般に、公共施設等の防災計画には次のように規定されていることが多いです。

「地震等が発生した場合は、施設内の利用者の**安全を確保**し、避難が必要と判断される時は、安全な場所へ**避難誘導**を行う。」

- 短い表現ですが、「安全確保」と「避難誘導」にはそれぞれ細かく確認しなければならないポイントがあります。

20

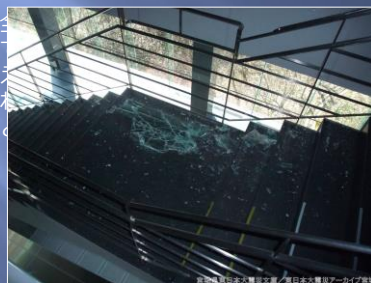
地震発生直後から避難するまで

- 地震発生直後の安全確保には、例えば次のようなことを確認する必要があります。
 - 建物に大きな被害がないか？
 - 避難経路上の危険物がないか？
 - 避難経路を確認する職員の安全は確保されているか？
 - 避難経路確認を待っている間の居場所は安全か？

21

地震発生直後から避難するまで

- 安全と避難経路が確保された場合は、避難経路が確保されたことを確認し、避難経路を確認する職員の安全を確保されているかを確認する必要がある。



出所：東日本大震災文庫（宮城県）提供者 宮城県図書館

22

地震発生直後から避難するまで

あなたは、利用者です。

種別は変更可能ですが、職員からの避難指示はまだありません。どうしますか？

A 外へ逃げる

B 指示を待つ

あなたは、職員です。

避難経路の安全を確認が済まない内に、利用者が外に出発の申し出をします。どうしますか？

A 待機するよう呼びかける

B 避難誘導する

- 設問を振り返ってみましょう。
- この2つの設問は同じ状況にいますが、立場が違うことにより、取り得る選択肢が異なっています。
- このような状況を利用者の立場で、考えてみて掘り下げていくことも大事です。

23

地震発生直後から避難するまで

- 地震発生直後から避難するまでには、ほかにもさまざまな状況が想定されます。
- これらは同時多発的に起こり、判断を求められます。

- 意思決定者の不在の場合は？
- 死傷者が出た場合は？
- 利用者の行動を制御できなくなった場合は？
- 避難経路上の危険物が確認された場合は？

24


地震発生時を想定すること

- 夜間に地震が発生した場合はどうでしょうか？
- 閉館時刻間際の発生だとどうでしょうか？

建物の被害や負傷者の発生などは同時多発的に起こり、判断を求められます。

「安全確保」や「避難誘導」には様々な状況を想定しておかなければなりません。

25


**防災計画を見直す時に
より具体的な想定を
行ってみてください**

26

災害発生！ あなたならどうする？ ～避難経路編～

企画・編集 図書館災害対応研究会

制作 国立研究開発法人
防災科学技術研究所自然災害情報室
<https://dli.bosai.go.jp/>


公開日：2020年11月4日
第22回図書館総合展_ONLINE
<https://www.libraryfair.jp/>

このコンテンツは CC BY-SA です

※本編の内容は、第21回図書館総合展（2019年）にて開催した防災ワークショップ「災害発生時あなたならどうする？」の一部を引用し、webコンテンツとして再構築したものです。

※webコンテンツは他にもあります

- 🔗 **帰れない人編**
- 🔗 **想定外の想定編**



27

SCIENCE FOR RESILIENCE



NIED
防災科研

28